

「ゼロカーボンシティ」を表明 村上市は2050年までに 二酸化炭素排出実質「ゼロ」 を目指します

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で自然災害が頻発しています。

昨年10月には、菅内閣総理大臣が「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロ※1にし、脱炭素社会の実現を目指す」という内容の「2050カーボンニュートラル宣言」を行いました。

市では、SDGsの理念を念頭に、この地域のかげえのない豊かな自然を次世代に引き継ぎ、持続可能なまちづくりを実現するため、6月4日に「ゼロカーボンシティ※2」に取り組むことを表明しました。

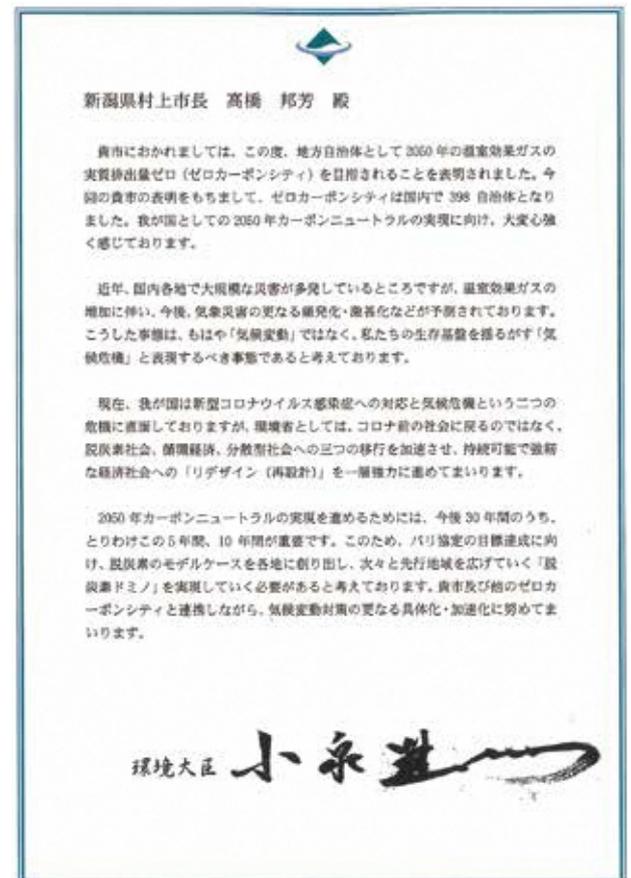
※1 排出量を全体としてゼロ…二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林などの吸収源による吸収量との間の均衡を達成すること

※2 ゼロカーボンシティ…地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を、2050年までに実質ゼロにすることを旨を公表した地方自治体のこと

今後の主な取り組み内容

1. 森林資源を利用したカーボンオフセットの導入検討、森林整備による温室効果ガス吸収量の増加
2. 民間発電事業者と連携した公共施設などでの再生可能エネルギーの利用促進
3. バイオマス資源を原料としたごみ袋を導入し、環境保全活動などでの利活用

表明文全文については市ホームページに掲載しています。



▲環境省認定文